

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	相模三川公園		
所在地	海老名市上郷二丁目他		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/sagamisansen/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成16年3月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所 東部センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
＜評価の理由＞ 利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとなった。 ＜今後の課題・対応等＞ 利用状況については天候に左右されたが、せせらぎ祭りの開催や事業計画外のイベントを実施するなど柔軟に対応し、利用者数は例年並みの実績となった。また、利用者満足度の評価については一昨年に新たな管理者となってから「満足」の評価が15%近く増え、質の高い維持管理・運営管理、積極的な新しい取り組みの実施により、優れた実績を収めている。 引き続き、この良好な管理運営水準の維持と災害に備える姿勢に期待する。
＜各項目の詳細説明＞ ◆管理運営等の状況 計画書の内容のとおり、子育て世代や高齢者など誰もが利用しやすい地域の交流の場、河川環境や防災を学び実践する場づくりを実施した。パークセンター内にキッズスペースを設け、地域の伝統行事の継承、地域との交流を促進する「せせらぎ祭り」を開催するなど、公園の利用促進につながる取組を推進した。 大雨洪水時には水防配備するとともに、日頃から災害に備え、高水敷にあるグラウンド施設の倒伏等の訓練や来園者が参加した避難訓練を実施していることは評価できる。 ◆利用状況 利用者数については、公園のせせらぎ祭りやあつぎ鮎まつり花火大会といった大きなイベントもあったが、年間を通じて天候に左右され、昨年度利用者の99.9%と例年並みの実績となった。目標達成率は105.5%となりA評価となった。指定管理者としては、季節の行事に合わせた展示や園内樹木への飾り付けを行うなど、利用促進を図る努力が伺えた。 ◆利用者の満足度 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が99.0%となったため、S評価となった。 ◆収支状況 収入は利用料金収入が当初予算額を317千円上回り、自販機利益も当初予算額を93千円上回ったが、全体としては当初予算額から197千円下回った。支出は、原油価格高騰に伴い電気代等が高騰した影響を受けたが、結果的に当初予算額より277千円下回ったことから、収支比率は微増の100.08%となり、A評価となった。 ◆苦情・要望等 施設の不具合に伴う苦情が1件あったが、適切に対応した。 ◆事故・不祥事等 3件の事故があった。指定管理職員の事故については安全管理に留意して再発防止に努めてほしい。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はなかった。 ◆その他 なお、令和5年度の3項目評価についてはA評価とした。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	A	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実 施 頻 度	現地調査等の内容
	毎月実施	適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実 施 頻 度	意見交換等の内容
	隔月実施	月 1 回の月例業務報告時は対面にて意見交換を行った。その他、電話やメールにて施設の管理運営上の課題等を情報共有している。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 ・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
子育て世代や高齢者など誰もが利用しやすく、地域の交流を生み出す場づくり ・健康づくり支援 ・利用者や地域の交流が生まれるイベント企画・運営 ・園内の快適さを高めるためのサービスや貸出し備品の充実	・ランニングやウォーキングのコースマップの掲示、健康達成度カードの発行 ・「健康体操教室」や「早朝ラジオ体操」の実施 ・「健康まつり」や「せせらぎ祭り」、「納涼盆踊り大会」など、自治会や学校、実行委員会と調整のうえ継続開催 ・飲食の提供、日陰の創出など園内の快適さを高めるためのサービスや貸出し備品の充実	提案した内容は実施され、誰もが利用しやすく、地域の交流を生み出す場づくりが図られた。 今後も誰もが利用しやすく、地域に根差した公園づくりに期待する。
公園を舞台に河川環境や防災を学び実践する場づくり ・園内の多様な環境の活用 ・河川防災に関する講座や避難訓練の実施 ・台風の接近、大雨洪水に関する対応	・河川や自然観察園の自然環境を学ぶため、「水辺の野鳥」「河畔林」をテーマとした自然観察会を開催 ・動植物観察の視点をまとめたセルフガイドシートの配布 ・河川行政経験者を配置して、県や市、関係機関等と連携した、地域を対象とする河川防災に関する講座や避難訓練を実施	提案された内容は実施され、河川環境や防災を学び実践する公園づくりが図られた。 今後もさらに立地の特性を活かした公園、防災意識啓発の場づくりに期待する。
広域的な利用を促進する多様な魅力づくり ・年間を通じて様々な花が楽しめる、魅力あふれる公園づくり ・歴史的資産でもある横須賀水道橋の活用の準備 ・WEBや関係団体と連携した広報の充実	・公園HPでの有料施設予約情報、荒天時の周知や花の見所、イベント情報などの周知 ・SNSでの魅力的な桜並木の開花情報や綺麗な花壇の様子を頻繁に投稿し、情報発信した ・YouTube公式チャンネルで情報発信した ・小田急電鉄と連携し、小田急沿線の花の名所スタンプラリーに参加	提案された内容は、実施された。 今後も広域的な利用を促進する多様な魅力づくりに期待する。
・新しい生活様式への対応 ・閑散期の利用促進 ・駐車場に関する事業の実施方針	・テレワーク利用の支援としてフリーWi-Fiを設置 ・七夕、ハロウィン、クリスマス、雛飾りなど、季節の行事に合わせた展示や園内樹木への飾り付けを実施。 ・来園者の多いサクラ開花時や、イベント開催時に誘導員を配置し、事故防止に努めた	提案された内容は、実施された。 今後もさらに利用促進が図られることに期待する。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
物販事業 県立都市公園のPRのためのカレンダー、レジャーサポート用品販売	計画どおり事業を実施した。
ケータリング売店事業、公園利用者へのサービスとして安全な食品の提供 供および障がい者支援として出店場所の提供	計画どおり事業を実施した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	437,660	463,243	462,998
対前年度比		105.8%	99.9%
目標値	400,000	434,000	439,000
目標達成率	109.4%	106.7%	105.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数と団体利用者数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の 実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	適切な公園管理により、前年度と同様に高い満足度が得られ、S評価となった。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 198 / 201 = 98.5%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	158	36	0	2	0	196	・きれいに管理されて いる
回答率	80.6%	18.4%	0.0%	1.0%	0.0%		
前年度の 回答数	147	48	2	3	1	201	
前年度回答率	73.1%	23.9%	1.0%	1.5%	0.5%		
回答率の 対前年度比	110.2%	76.9%	0.0%	68.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	83,716	1,544	2,520	自販機 2,520	87,780	87,780	0	
	決算	83,716	1,321	3,332	自販機 3,332	88,369	88,374	-5	99.99%
前年度	当初予算	88,392	4,745	8,279	自販機 2,844 駐車場 5,435	101,416	101,416	0	
	決算	88,392	5,217	8,593	自販機 3,196 駐車場 5,397	102,202	99,238	2,964	102.99%
令和5年度	当初予算	91,017	4,792	8,361	自販機 2,872 駐車場 5,489	104,170	104,170	0	
	決算	91,017	5,109	7,847	自販機 2,965 駐車場 4,882	103,973	103,893	79	100.08%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位：千円)
令和5年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	1 件	大雨による漏電で園内スピーカーから大きなノイズ音が鳴りっぱなしとなった。	配線の遮断により対応。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 9. 9	①職員が巡回中に水溜まりを避けるため足を滑らせて転倒し、頭部を裂傷した。 ②当日に電話とメールで報告あり。 ③降雨の翌日は、朝のパトロール時に水溜まりの有無を確認し、コーンやバーなどを設置して注意喚起するなど再発防止を図った。 ④無 ⑤無 ⑥無
R6. 1. 25	①職員が剪定作業中、高枝切鋏の柄を引張って伸ばそうとした際、刃先部分に指を挟み、右手中指の裂傷。 ②当日に電話とメールで報告あり。 ③革手袋を着用し、器具の取扱い注意を徹底するなど再発防止を図った。 ④無 ⑤無 ⑥無
R6. 3. 3	①児童が回転遊具に登り、転落して上腕部を骨折。 ②当日に電話とメールで報告あり。 ③通常の使われ方ではなかったが、注意喚起の貼り紙をして再発防止を図った。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したもののでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。